事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0158
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　梅野　博英
所属　1121　環境部環境政策課　記入者　髙橋　直輝
事務事業番号　01058　環境保全市民運動推進事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	002　自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	006　自然豊かな景観を守り育て、自然と共生するまちにします				
施策	015　自然環境の保全				
取組の方向性	001　琵琶湖を始めとする水環境の保全				
事務事業	001　環境保全市民運動推進事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	大津市環境基本条例				
事業概要	（事業概要） 「琵琶湖を美しくする運動実践本部」が実施する琵琶湖市民清掃の支援、河川愛護団体に対する河川清掃用具の配付や情報提供等の活動、地域のヨシ保全事業の支援など、市民や事業者が自らの手で琵琶湖の美しさを保持するとともに快適な水辺環境の保全と創造が実現できるように市民運動の育成・支援を行う。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 琵琶湖の保全をはじめ、地域の美化、環境保全につながる市民活動を支援することによる、市民・事業者・行政との協働の取り組みが求められている。また、コミュニティの希薄化や高齢化などにより、各種市民活動の参加者数は減少傾向にある。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	市民や事業者などを対象として
目的（何のために）	琵琶湖の美しさを保持し、琵琶湖岸、河川、公園、道路などの美化や清掃を行うため
手段（どのようなやり方で）	琵琶湖市民清掃の実施を支援し、広報等を通じて「琵琶湖を美しくする運動」の啓発活動を行い、河川愛護団体結成を促し定期的な河川清掃等の河川愛護活動、及び各地域のヨシ保全団体の活動を支援することで
成果（どのような状態にするのか）	多くの市民、事業者の参加を得て琵琶湖岸、河川、公園、道路等の公共的な場所の美化が図られるとともに、河川を軸とした新たな流域コミュニティ（川すじコミュニティ）が形成される

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	29,168	30,335	27,632	27,906	27,906	27,906	27,906
事業費	14,730	15,575	15,992	16,266	16,266	16,266	16,266
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	5,685	6,474	7,796	8,129	8,129	8,129	8,129
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	9,045	9,101	8,196	8,137	8,137	8,137	8,137
人件費計	14,438	14,760	11,640	11,640	11,640	11,640	11,640
事務・技術（人）	1.81	1.79	1.40	1.40	1.40	1.40	1.40
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.08	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0158
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1121　環境部環境政策課
事務事業番号　01058　環境保全市民運動推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-37-21-00-01-00	環境保全市民運動推進費	環境部環境政策課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)琵琶湖市民清掃実践本部加入団体数	団体	120.00	120.00	120.00	120.00	120.00	120.00	120.00
		122.00	124.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)河川清掃実施回数	回	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00
		540.00	434.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)琵琶湖市民清掃参加人数	人	72,000.00	72,000.00	72,000.00	72,000.00	72,000.00	72,000.00	72,000.00
		25,939.00	46,097.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)河川清掃等参加者数	人	20,000.00	20,000.00	20,000.00	20,000.00	20,000.00	20,000.00	20,000.00
		11,632.00	12,038.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	市民・事業者・行政の三者協働の観点から有意義である。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	公有地の環境保全が図られている。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	効率的に環境保全が図られている。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	行政の支援が各団体の活動に寄与している。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	琵琶湖市民清掃実践本部加入団体数及び河川愛護団体による清掃作業等の実施回数については目標を上回ったが、各々の参加者数は目標未達となっている。また、河川清掃実施回数は、年々減少傾向である。これらの要因としては、温暖化による夏場の猛暑日の増加や活動に携わる市民の高齢化などが影響していると考えられる。引き続き、実施主体や関係者と課題を共有しながら、持続可能な市民活動の推進に向け、必要な対策を講じていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	市民が主体的に環境保全活動に取り組むことは、地域環境の保全意識の醸成のみならず、地域コミュニティの活性化への貢献も期待できる。一方で担い手の減少等の課題もあり、持続可能性を見据えた支援を継続していく。琵琶湖市民清掃については、これまでの課題と各地域の実情を実践本部とも共有しながら、事業の最適化に取り組む必要がある。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1121　環境部環境政策課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　01058　環境保全市民運動推進事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)琵琶湖市民清掃実践本部加入団体数	団体	120.00 122.00	120.00 124.00	120.00 0.00	120.00 0.00	120.00 0.00	120.00 0.00	120.00 0.00
	指標説明	琵琶湖を美しくする運動実践本部参加団体数						
(活動)河川清掃実施回数	回	200.00 540.00	200.00 434.00	200.00 0.00	200.00 0.00	200.00 0.00	200.00 0.00	200.00 0.00
	指標説明	各河川愛護団体が実施する河川清掃や川辺の花づくり作業実施回数						
(成果)琵琶湖市民清掃参加人数	人	72,000.00 25,939.00	72,000.00 46,097.00	72,000.00 0.00	72,000.00 0.00	72,000.00 0.00	72,000.00 0.00	72,000.00 0.00
	指標説明	琵琶湖市民清掃参加人数						
(成果)河川清掃等参加者数	人	20,000.00 11,632.00	20,000.00 12,038.00	20,000.00 0.00	20,000.00 0.00	20,000.00 0.00	20,000.00 0.00	20,000.00 0.00
	指標説明	各河川愛護団体が実施した清掃活動等に参加した人数						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0159
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　梅野　博英
所属　1121　環境部環境政策課　記入者　小野　顕大
事務事業番号　01150　環境企画推進事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	003　安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	012　再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でグリーンなまちにし				
施策	029　脱炭素社会の推進				
取組の方向性	002　環境にやさしい市役所の率先実行				
事務事業	001　環境企画推進事業				
運営方法	民間委託				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	地球温暖化対策の推進に関する法律、大津市環境基本条例				
事業概要	（事業概要） 大津市環境基本計画（第３次）に基づき、市民の省エネルギー推進のための各種事業や再生可能エネルギー普及の啓発等を実施する。また、市役所の事業活動に伴う環境負荷を低減するため、本市独自の環境マネジメントシステム（環境オームス）により取組を進める。				
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境)脱炭素社会への移行に向けた機運が高まる中で、国だけでなく地方自治体における地域脱炭素の推進が必要不可欠であり、省エネや地域の再エネを活用した施策等の加速化が求められている。 (見直しや改善等の経過）大津市地球温暖化防止活動推進センターに温暖化対策普及啓発等の業務を委託することで、効率的・効果的な事業実施に努めた。また、「エコ移動」普及のためシェアサイクル実証事業を実施し、自家用自動車等からの転換による環境負荷の低減効果を検証した。市役所においては、令和５年度に策定した庁外市有施設のＬＥＤ化計画に基づき、適切に改修を進めているところである。加えて、環境オームスの内容を見直し、職員負担を軽減しつつ職場における省エネ行動の実践を推進した。なお、環境基本計画については、環境や社会情勢の変化に対応すべく中間見直しを予定しており、令和７年度には市民意識調査を実施した。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民、事業者、市民団体に
目的(何のために)	大津市環境基本計画（第３次）に掲げる取組を推進するため
手段(どのようなやり方で)	ホームページや広報紙等による省エネルギー及び再生可能エネルギーの啓発、市民等の省エネルギーへの取組の支援を行うとともに、市が率先して取組を実施することにより
成果(どのような状態にするのか)	市民等の地球環境保全に対する理解を深め、計画に掲げる各種取組を着実に推進する。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	51,115	356,426	433,101	516,094	788,437	592,782	724,440
事業費	19,581	322,746	398,461	481,454	753,797	558,142	689,800
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	277,200	341,900	421,400	666,500	490,400	608,900
その他	1,272	1,470	39,542	363	363	363	363
一般財源	18,309	44,076	17,019	59,691	86,934	67,379	80,537
人件費計	31,534	33,680	34,640	34,640	34,640	34,640	34,640
事務・技術（人）	2.93	3.08	3.20	3.20	3.20	3.20	3.20
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60
会計年度任用（人）	1.30	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0159
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1121　環境部環境政策課
事務事業番号　01150　環境企画推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-37-60-00-05-00	環境企画推進事業費	環境部環境政策課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)省エネルギー等啓発回数	回	15.00 31.00	15.00 31.00	15.00 0.00	15.00 0.00	15.00 0.00	15.00 0.00	15.00 0.00
(成果)温室効果ガス削減量（2013年度比）	%	46.00 31.24	46.00 36.71	46.00 0.00	46.00 0.00	46.00 0.00	46.00 0.00	46.00 0.00
(成果)エコライフデーの参加世帯数（累計）	世帯	10,000.00 2,291.00	10,000.00 3,845.00	10,000.00 0.00	10,000.00 0.00	10,000.00 0.00	10,000.00 0.00	10,000.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	法により地方公共団体の責務とされているため			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	環境基本計画の目標設定に向けて着実に成果が上がっているため			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	事業の多くを委託により遂行し、効果も表れているため			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	継続的な普及啓発等により市民等の行動変容に寄与しているため			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	定量評価のうち、省エネルギー等の啓発については、従来の広報おおつへの掲載に加えてＳＮＳ等による周知を工夫するとともに、実施回数を増加させた。エコライフデー参加世帯数については順調に増加しており、夏休みに小学生をターゲットとした集中取組を実施するなど、効果的な普及啓発を実施した。また、温室効果ガスの削減目標の達成に向けては、引き続き、国、県の動向を注視しながら、大津市環境基本計画（第３次）に基づき、市有施設の照明設備のＬＥＤ化や再エネ電力導入の取組を市が率先して実行していくとともに、大津市地球温暖化防止活動推進センターと連携して市民・事業者への普及啓発に取り組むなど、同計画の目標の達成及び２０５０年カーボンニュートラル実現に向け有効な施策を継続して実施していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	「大津市環境基本計画（第３次）」に掲げる「２０５０年カーボンニュートラル」の実現を見据えて、引き続き地域脱炭素の推進に取り組むとともに、市役所自らが市有施設の照明設備のLED化や省エネルギーの推進、再生可能エネルギーの活用等を推進していく必要がある。なお、令和８年度に予定している計画の見直しにあわせて、これまでの取組を検証していくこととする。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1121　環境部環境政策課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　01150　環境企画推進事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)省エネルギー等啓発回数	回	15.00 31.00	15.00 31.00	15.00 0.00	15.00 0.00	15.00 0.00	15.00 0.00	15.00 0.00
	指標説明	広報紙等による市民向けの省エネ、地球温暖化防止等啓発回数						
(成果)温室効果ガス削減量（2013年度比）	%	46.00 31.24	46.00 36.71	46.00 0.00	46.00 0.00	46.00 0.00	46.00 0.00	46.00 0.00
	指標説明	目標値は、大津市環境基本計画の基本目標に示される2030年度の達成指標（2013年度温室効果ガスの排出量を基準とした削減割合）を記載し、実績値は、当該年度の前々年分の排出量推計値を記載している。						
(成果)エコライフデーの参加世帯数（累計）	世帯	10,000.00 2,291.00	10,000.00 3,845.00	10,000.00 0.00	10,000.00 0.00	10,000.00 0.00	10,000.00 0.00	10,000.00 0.00
	指標説明	令和４年度から令和１２年度までのエコライフデーの累計参加世帯数						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0160
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　梅野　博英
所属　1121　環境部環境政策課　記入者　髙橋　直輝
事務事業番号　01190　環境人育成事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	002　自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	006　自然豊かな景観を守り育て、自然と共生するまちにします				
施策	015　自然環境の保全				
取組の方向性	003　「環境人」の育成の推進				
事務事業	002　環境人育成事業				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	環境基本法、環境教育等促進法				
事業概要	（事業概要） 環境問題に関心を持ち豊かで快適な環境を創造していく人を育成するために、子どもの自然体験学習を充実させる。子どもと親・家族が豊かな本市の自然に学び、自然を楽しむ体験型環境教育を展開し環境にやさしく生きる力を持った「環境人」を育むことを目的として次の事業を実施する。 ・自然家族事業　・大津こども環境探偵団事業　・指導者研修事業				
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） これまでの本市の環境保全活動を率先してきた市民の高齢化や、若年世帯の増加、転入者の増加に比し、保全活動を行う市民の減少等が新たな課題となりつつある。一方、最新のアンケート調査では、琵琶湖をはじめ自然環境に魅力を感じる市民が多く、今後これら市民を「環境人」として育成し、課題に対応していく必要がある。 （見直しや改善等の経過） 令和５年度より、指導者研修会において、実際の教育現場（幼稚園）での実践活動をスタートした。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	自然家族事業は子育て親子、こども環境探偵団事業は小学３年生～中学３年生、指導者研修事業は環境学習に携わる方を対象に
目的(何のために)	人間の社会活動と環境の関わりにおいて、市民一人ひとりが深い理解と認識を持ち、各自が環境に配慮した生活・行動ができる「環境人」の育成を目的として
手段(どのようなやり方で)	里、川、琵琶湖、山等のフィールドを利用した自然体験プログラムの実施（自然家族事業、大津こども環境探偵団事業、指導者研修事業）により
成果(どのような 状態にするのか)	「環境人」を育成し、環境問題に関心がある人が多い社会をつくる ※環境人とは、高い環境意識を有し、主体的に環境に配慮した行動を実践する人

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	15,050	15,147	9,815	9,857	9,857	9,857	9,857
事業費	612	707	975	1,017	1,017	1,017	1,017
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	301	500	500	500	500	500	500
一般財源	311	207	475	517	517	517	517
人件費計	14,438	14,440	8,840	8,840	8,840	8,840	8,840
事務・技術（人）	1.81	1.75	1.05	1.05	1.05	1.05	1.05
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.08	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0160
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1121　環境部環境政策課
事務事業番号　01190　環境人育成事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-37-21-00-02-00	環境人育成事業費	環境部環境政策課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
（活動）自然家族事業開催回数	回	8.00	8.00	8.00	8.00	8.00	8.00	8.00
		8.00	5.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（活動）大津こども環境探偵団環境学習回数	回数	4.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00
		4.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（成果）自然家族事業参加者数	人	400.00	400.00	400.00	400.00	400.00	400.00	400.00
		239.00	174.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（成果）大津こども環境探偵団卒団生数	人	2,162.00	2,202.00	2,242.00	2,282.00	2,322.00	2,362.00	2,362.00
		2,188.00	2,228.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	環境教育等促進法に基づき当該事業は妥当である。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	事業アンケートの結果から、環境に関心を持つために有意義である			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	監視を持たせられるように、適宜内容を見直している。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	環境に関心を持ち、また配慮した行動ができる。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	指導者研修にあっては、実際の教育現場（幼稚園）での実践活動の定着化を図るとともに、大津こども環境探偵団事業については、指導者不足や参加する子どもの低年齢化に対し、大津市環境人育成推進懇話会や事業関係者からの意見を踏まえた対応を検討していく、自然家族事業については、悪天候による参加者の減少や近隣におけるクマの出没情報などを受けた事業の中止等により参加者数が減少した。今後、夏場の熱中症対策も含め、事業の実施方法を工夫していく必要がある。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	本事業が本市の環境保全活動の基盤を支えてきたことを踏まえつつ、大津市環境人育成推進懇話会からの意見を積極的に採り入れるとともに、自然家族事業の委託先であるNPO法人おおつ環境フォーラムとも効果的な事業の実施について協議していく必要がある。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1121　環境部環境政策課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　01190　環境人育成事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
（活動）自然家族事業開催回数	回	8.00 8.00	8.00 5.00	8.00 0.00	8.00 0.00	8.00 0.00	8.00 0.00	8.00 0.00
	指標説明	各年度の自然家族事業の事業開催回数、活動実績数						
（活動）大津こども環境探偵団環境学習回数	回数	4.00 4.00	3.00 3.00	3.00 0.00	3.00 0.00	3.00 0.00	3.00 0.00	3.00 0.00
	指標説明	各年度の大津こども環境探偵団環境学習事業の回数、活動実績数						
（成果）自然家族事業参加者数	人	400.00 239.00	400.00 174.00	400.00 0.00	400.00 0.00	400.00 0.00	400.00 0.00	400.00 0.00
	指標説明	各年度における自然家族事業の参加者数						
（成果）大津こども環境探偵団卒団生数	人	2,162.00 2,188.00	2,202.00 2,228.00	2,242.00 0.00	2,282.00 0.00	2,322.00 0.00	2,362.00 0.00	2,362.00 0.00
	指標説明	各年度末の大津こども環境探偵団卒団生数（第1期からの総数）						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0161
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　古田　幸子
所属　1703　環境部廃棄物減量推進課　記入者　星田　真文
事務事業番号　01023　し尿処理事業推進事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	003　安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	012　再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でグリーンなまちにし				
施策	030　循環型社会の推進				
取組の方向性	002　廃棄物の適正処理				
事務事業	004　し尿処理事業推進事業				
運営方法	民間委託				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律				
事業概要	（事業概要） 廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、市内から排出されるし尿と浄化槽汚泥を適正に処理する。 また、１６箇所の公衆便所を市民等が清潔で快適に利用できるよう維持管理に努めている。				
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） し尿・浄化槽汚泥は、下水道の普及に伴い収集量が減少し続けている。 （見直しや改善等の経過） 本市のし尿収集運搬事業は、一部地域を除いて許可制としてきたが、安定的したし尿収集運搬事業を継続するため、令和４年１月からのし尿処理施設の再編に合わせ全面委託化した。 また、受益者負担の適正化を図るべく、令和７年４月にし尿収集運搬手数料を改定した。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民生活から排出されるし尿・浄化槽汚泥に対して
目的(何のために)	生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため
手段(どのようなやり方で)	し尿・浄化槽汚泥収集委託及び許可業者による収集運搬などの事業を推進して、適正処理を図ることにより
成果(どのような 状態にするのか)	市民が快適な生活を送ることができる。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	144,537	140,526	157,923	166,132	166,132	166,132	166,132
事業費	127,253	122,810	139,943	148,152	148,152	148,152	148,152
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	57,113	63,839	69,382	59,031	59,031	59,031	59,031
一般財源	70,140	58,971	70,561	89,121	89,121	89,121	89,121
人件費計	17,284	17,716	17,980	17,980	17,980	17,980	17,980
事務・技術（人）	1.78	1.78	1.78	1.78	1.78	1.78	1.78
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.85	0.79	0.85	0.85	0.85	0.85	0.85
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0161
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1703　環境部廃棄物減量推進課
事務事業番号　01023　し尿処理事業推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-30-21-00-10-00	し尿処理事業推進費	環境部廃棄物減量推進課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
（活動）し尿くみ取り・浄化槽人口	人	9,398.00	8,939.00	8,491.00	8,056.00	7,630.00	7,215.00	6,803.00
		10,414.00	10,187.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（活動）公衆便所年間清掃回数	回／年	8,551.00	8,551.00	8,551.00	8,577.00	8,551.00	8,551.00	8,551.00
		8,577.00	8,577.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（成果）し尿・浄化槽汚泥処理量	KL／日	27.00	26.09	24.75	23.44	22.16	20.91	19.67
		30.30	28.30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（成果）公衆便所利用回数	回／日	4,125.00	4,125.00	4,125.00	4,125.00	4,125.00	4,125.00	4,125.00
		3,710.00	3,267.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	し尿及び浄化槽汚泥の処理責任は市にある			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	廃棄物の適正な処理に努めることで生活環境保全につながっている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	事業に精通した専門業者への委託事業として実施している			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	市民の生活環境保全に関連が深く、目標達成に貢献している			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	し尿収集運搬事業の委託化により円滑かつ安定的に事業の運営ができている。今後も計画通りに安定した事業運営を実施していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	令和４年１月にし尿処理施設の再編を行い、令和７年４月にし尿汲み取り手数料の改定を行った。 今後も、浄化槽の普及など他の取組みとも連携させながら生活環境の保全に努めていく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1703　環境部廃棄物減量推進課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　01023　し尿処理事業推進事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
（活動）し尿くみ取り・浄化槽人口	人	9,398.00 10,414.00	8,939.00 10,187.00	8,491.00 0.00	8,056.00 0.00	7,630.00 0.00	7,215.00 0.00	6,803.00 0.00
	指標説明	し尿くみ取り・浄化槽人口						
（活動）公衆便所年間清掃回数	回／年	8,551.00 8,577.00	8,551.00 8,577.00	8,551.00 0.00	8,577.00 0.00	8,551.00 0.00	8,551.00 0.00	8,551.00 0.00
	指標説明	１６箇所公衆便所年間清掃回数						
（成果）し尿・浄化槽汚泥処理量	KL／日	27.00 30.30	26.09 28.30	24.75 0.00	23.44 0.00	22.16 0.00	20.91 0.00	19.67 0.00
	指標説明	し尿・浄化槽汚泥施設処理量（志賀衛生プラント・北部衛生プラント）						
（成果）公衆便所利用回数	回／日	4,125.00 3,710.00	4,125.00 3,267.00	4,125.00 0.00	4,125.00 0.00	4,125.00 0.00	4,125.00 0.00	4,125.00 0.00
	指標説明	公衆便所利用回数（年間水道使用量÷１回あたり水道使用量平均６L）						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0162
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　古田　幸子
所属　1703　環境部廃棄物減量推進課　記入者　楠　有矢
事務事業番号　01153　３Ｒ推進事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	003　安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	012　再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でグリーンなまちにし				
施策	030　循環型社会の推進				
取組の方向性	001　資源循環と食品ロス削減の推進				
事務事業	001　３Ｒ推進事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	循環型社会形成推進基本法　廃棄物処理法　大津市補助金等交付規則等				
事業概要	（事業概要） 市民会議である「ごみ減量と資源再利用推進会議」と協働したイベント開催や啓発活動、リサイクルセンター木戸及び環境美化センターにおける体験教室、啓発事業の実施、集団資源回収の促進支援及び生ごみ処理機等の購入支援、刈り草剪定枝の堆肥化処理などにより、３Ｒ（発生抑制、再使用、再生利用）を推進する。				
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 大量生産・大量消費型であった社会経済システムを循環型社会形成推進基本法などに基づき循環型社会に転換していく必要がある。また、プラ資源循環促進法において３R+Renewableの原則が取り入れられた。 （見直しや改善等の経過） 令和３年度から引き続き、家庭ごみの量は減少傾向にある。また、令和５年度から環境美化センターとリサイクルセンター木戸の２拠点で３Ｒ推進の啓発に取り組んでいる。リサイクルセンター木戸は、令和５年８月から指定管理者制度に移行、令和６年度には事業内容の拡充のため条例を一部改正した。令和７年度にはリニューアルオープンのため改修工事に着工した。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民及び事業所を対象にして
目的(何のために)	大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会経済システムから３Ｒを推進する循環型社会への転換を図るため
手段(どのようなやり方で)	ごみ減量と資源再利用推進会議と協働したイベント開催や啓発活動、環境美化センター及びリサイクルセンター木戸での体験教室や啓発事業の実施、集団資源回収の促進支援及び生ごみ処理機等購入支援、刈り草剪定枝の堆肥化処理などにより
成果(どのような 状態にするのか)	市内における３Ｒ（ごみの発生抑制、不用品の再使用、再生利用）を推進する。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	138,418	125,564	158,990	93,122	93,122	93,122	93,122
事業費	105,206	88,820	118,530	54,102	54,102	54,102	54,102
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	251	165	228	228	228	228	228
地方債	0	11,100	18,100	0	0	0	0
その他	35,325	17,894	25,759	0	0	0	0
一般財源	69,630	59,661	74,443	53,874	53,874	53,874	53,874
人件費計	33,212	36,744	40,460	39,020	39,020	39,020	39,020
事務・技術（人）	2.54	3.35	3.71	3.53	3.53	3.53	3.53
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	3.35	2.26	2.45	2.45	2.45	2.45	2.45
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0162
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1703　環境部廃棄物減量推進課
事務事業番号　01153　３Ｒ推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-10-36-00-01-00	３Ｒ推進事業費	環境部廃棄物減量推進課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)集団資源回収団体数	団体	660.00	660.00	660.00	660.00	660.00	660.00	660.00
		586.00	557.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)生ごみ処理機等補助金申請件数	件	55.00	55.00	55.00	55.00	55.00	55.00	55.00
		145.00	172.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)ごみ排出量（燃やせるごみ）	t	59,233.00	58,977.00	58,696.00	58,600.00	58,173.00	57,894.00	57,564.00
		52,788.36	52,402.83	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	ごみ減会議等と協働して進めている。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	計画目標を上回る達成率となった。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	ごみ減会議等と協働して進めている。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	各種の啓発が、ごみの減量に繋がっている。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント（４００文字）	ごみ量は、令和３年度から引き続き、５年連続の減少となった。一般廃棄物処理基本計画における目標値は達成されているが、引き続きごみ減量を啓発していく必要がある。令和８年度は、「ごみ減量と資源再利用推進会議」等との協働による周知・啓発をはじめ、ごみ減量施策を推進していくが、この間の推移も踏まえて、一般廃棄物処理基本計画の中間見直しに取り組む。また、新たな再生可能資源の活用について木戸さすてなプラザを拠点として取り組んでいく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント（４００文字）	燃やせるごみの量は、継続して減少傾向を示している。生ごみ処理機等活用事業補助金の他、各種リサイクルや啓発が市民のごみ減量意識の推進に役立っていると考えられる。 今後、令和８年度の基本計画中間見直しにあたり、プラスチック資源循環促進法など、社会環境の変化を踏まえ有効な対策について検討を行うとともに、既存事業についても見直し検討することとする。 また、各取組みの推進にあたり重要となる市民理解を促すため、市民団体などとの緊密な連携に努める。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1703　環境部廃棄物減量推進課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　01153　３Ｒ推進事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)集団資源回収団体数	団体	660.00 586.00	660.00 557.00	660.00 0.00	660.00 0.00	660.00 0.00	660.00 0.00	660.00 0.00
	指標説明	当該年度後期（７月～１２月）実施団体数						
(活動)生ごみ処理機等補助金申請件数	件	55.00 145.00	55.00 172.00	55.00 0.00	55.00 0.00	55.00 0.00	55.00 0.00	55.00 0.00
	指標説明	過去５年の申請件数（生ごみ処理機＋コンポスト）						
(成果)ごみ排出量（燃やせるごみ）	t	59,233.00 52,788.36	58,977.00 52,402.83	58,696.00 0.00	58,600.00 0.00	58,173.00 0.00	57,894.00 0.00	57,564.00 0.00
	指標説明	一般廃棄物処理基本計画に基づく目標値（家庭系燃やせるごみ量）						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0163
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　古田　幸子
所属　1703　環境部廃棄物減量推進課　記入者　東　寛之
事務事業番号　01154　廃棄物適正処理事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	003　安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	012　再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でグリーンなまちにし				
施策	030　循環型社会の推進				
取組の方向性	001　資源循環と食品ロス削減の推進				
事務事業	002　廃棄物適正処理事業				
運営方法	民間委託				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	廃棄物処理法、美化条例・規則				
事業概要	（事業概要） 家庭から排出される一般廃棄物のステーション方式での定期的な収集運搬による適正処分と市内の事業所から排出される一般廃棄物の適正な処理を行う。				
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 家庭系ごみ量については継続して減少傾向であるが、同じく減少傾向にあった事業系ごみ量は、令和７年度は増加となった。また、リチウムイオン電池等の不適正排出が課題となっている。 （見直しや改善等の経過） これまで、ごみの分別収集の見直しや適正処理困難物の処理体制の整備などを行ってきた。令和６年度はリチウムイオン電池のびんの日同時回収を開始し、また、家庭ごみの土曜収集廃止を行った。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民から排出される家庭ごみや事業系一般廃棄物を
目的(何のために)	市民の生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図ることを目的に
手段(どのようなやり方で)	家庭ごみ収集運搬委託及び事業系一般廃棄物収集運搬許可業者による収集運搬を通して、廃棄物の適正処理を図ることにより
成果(どのような 状態にするのか)	市民が快適な生活を送ることができる。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	1,324,857	1,372,072	1,404,198	1,466,796	1,466,796	1,466,796	1,466,796
事業費	1,266,065	1,315,356	1,338,168	1,395,246	1,395,246	1,395,246	1,395,246
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	71,209	58,830	62,998	62,506	62,506	62,506	62,506
一般財源	1,194,856	1,256,526	1,275,170	1,332,740	1,332,740	1,332,740	1,332,740
人件費計	58,792	56,716	66,030	71,550	71,550	71,550	71,550
事務・技術（人）	5.04	4.97	5.11	5.80	5.80	5.80	5.80
技能労務（人）	1.60	1.20	2.50	2.50	2.50	2.50	2.50
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	2.35	2.19	2.25	2.25	2.25	2.25	2.25
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0163
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1703　環境部廃棄物減量推進課
事務事業番号　01154　廃棄物適正処理事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-15-65-00-02-00	廃棄物適正処理事業費	環境部廃棄物減量推進課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
（活動）定期収集日	日	283.00	257.00	259.00	260.00	260.00	260.00	260.00
		283.00	257.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（活動）展開調査	回	4.00	4.00	8.00	8.00	8.00	8.00	8.00
		8.00	8.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（成果）取り漏れ等の苦情件数	件数	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
		29.00	11.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（成果）事業系ごみ量（臨時収集除く）	t	21,061.00	20,403.00	19,892.00	19,435.00	18,871.00	18,323.00	17,812.00
		21,171.00	21,775.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	廃棄物処理法において一般廃棄物の処理は市の責務であり妥当。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	廃棄物が適正に処理され、市民の生活環境の保全が図られている。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	委託等により適正かつ効率的に収集運搬が実施できている。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	家庭ごみの適正な収集運搬や事業者への指導等が実施できている。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	引き続き、市の責務である一般廃棄物の処理を適正かつ効率的に実施するため、法に規定する基準に則した処理及び委託を実施する。リチウムイオン電池の混入については、そもそもどのような製品に含まれているかや処分方法がわかりにくいため、その適正な排出方法や火災の危険性を市民に広く、分かりやすく伝えていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	引き続き、家庭ごみの適正処理のため、分別の徹底を啓発していく。特に、リチウムイオン電池などの火災の危険が伴う廃棄物については、収集及び処理の段階においての被害発生の恐れがあることから、具体的に分かりやすく示していく。 また、事業者に対しても、事業系ごみの適正処理及び減量の推進を啓発していく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1703　環境部廃棄物減量推進課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　01154　廃棄物適正処理事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
（活動）定期収集日	日	283.00	257.00	259.00	260.00	260.00	260.00	260.00
		283.00	257.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	定期収集の延日数						
（活動）展開調査	回	4.00	4.00	8.00	8.00	8.00	8.00	8.00
		8.00	8.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	処理施設での事業系ごみ収集車両に対する展開調査（美化センター、北部クリーンセンター）						
（成果）取り漏れ等の苦情件数	件数	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
		29.00	11.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	定期収集の収集漏れ件数						
（成果）事業系ごみ量（臨時収集除く）	t	21,061.00	20,403.00	19,892.00	19,435.00	18,871.00	18,323.00	17,812.00
		21,171.00	21,775.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	一般廃棄物処理基本計画に基づく目標値（事業系ごみ（臨時収集除く）						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0164
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　中野　雅人
所属　1710　環境部産業廃棄物対策課　記入者　荒木　幹昌
事務事業番号　01173　廃棄物不適正処理対策事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	003　安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	012　再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でグリーンなまちにし				
施策	030　循環型社会の推進				
取組の方向性	003　不法投棄防止の推進				
事務事業	001　廃棄物不適正処理対策事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律				
事業概要	（事業概要） 地域住民と連携した監視パトロール、不法投棄等のおそれのある地域への警告看板等の設置、啓発チラシの配布による廃棄物の不適正処理の未然防止を図るとともに、廃棄物の不適正な管理や処理を行っているおそれのある行為者等に対し指導監督を行う。				
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 家電、食品、建設など個別物品のリサイクル法が定着する等により、人の目が届くような住宅地等における不法投棄事案の発生は減少しつつある。しかし、人通りの少ない道路や山間部においては、依然として建築廃材等に代表される産業廃棄物の不法投棄が多く発生している。 （見直しや改善等の経過） 過去の不法投棄事案を集計し、その結果に基づき定期的に監視体制の見直し、警告看板の設置等を行っている。また、十分な行政の監視が及ばない地域については、地域の事情に詳しい住民を不法投棄等監視員として委嘱し、官民協働のもと未然防止を図っている。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	産業廃棄物の処理において
目的(何のために)	公衆衛生の悪化や市民の生活環境に支障を生じさせないために、
手段(どのようなやり方で)	適正に処理されるよう監視、啓発を行うとともに、不適切な処理が確認された場合は処理責任者又は行為者に対し指導を行うことにより、
成果(どのような 状態にするのか)	廃棄物が適正に処理され、清潔が保たれた生活環境が保全される。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	54,002	58,907	65,030	67,887	67,887	67,887	67,887
事業費	5,116	5,980	6,960	9,817	9,817	9,817	9,817
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	1,850	1,850	1,850	1,850	1,850	1,850	1,850
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	3,266	4,130	5,110	7,967	7,967	7,967	7,967
人件費計	48,886	52,927	58,070	58,070	58,070	58,070	58,070
事務・技術（人）	2.87	3.08	4.16	4.16	4.16	4.16	4.16
技能労務（人）	1.00	1.00	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
再任用（人）	1.00	0.33	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
会計年度任用（人）	3.60	4.60	3.60	3.60	3.60	3.60	3.60
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0164
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1710　環境部産業廃棄物対策課
事務事業番号　01173　廃棄物不適正処理対策事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-07-05-00-10-00	廃棄物不適正処理対策事業費	環境部産業廃棄物対策課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)職員によるパトロール実施日数	日	230.00 233.00	230.00 243.00	230.00 0.00	230.00 0.00	230.00 0.00	230.00 0.00	230.00 0.00
(成果)不法投棄に係る市民要望の解決率	%	90.00 91.75	90.00 87.38	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
(成果)不適正処理等に対する着手率	%	0.00 0.00	0.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	権限移譲事務である。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	行為者を特定できた場合は厳格な指導を行っている。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	警察ＯＢ、業者委託、市民などによる重層的監視が非常に有効			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	不適正処理に対し適切な指導を行うことで法の目的を達成する			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	地域住民と連携した監視パトロールによる不法投棄の早期発見・早期対応及び不法投棄等のおそれのある地域への警告看板の設置等による啓発活動は、廃棄物の不適正処理の防止に有効であることから、引き続き事業の継続を図っていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	廃棄物の不適正処理を防ぐため、地域住民と連携した監視パトロールや警告看板等の設置により未然防止に努めるとともに、廃棄物の不適正な管理や処理を行っているおそれのある事業者に対して、迅速的確に対応すること。また、啓発チラシの配布を行うなど、引き続き、市民の意識向上に努めること。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1710　環境部産業廃棄物対策課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　01173　廃棄物不適正処理対策事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)職員によるパトロール実施日数	日	230.00 233.00	230.00 243.00	230.00 0.00	230.00 0.00	230.00 0.00	230.00 0.00	230.00 0.00
	指標説明	職員によるパトロールを実施した日数（土砂不適正処理事案パトロールを含む）						
(成果)不法投棄に係る市民要望の解決率	%	90.00 91.75	90.00 87.38	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	1 ヶ月以内に不法投棄物を回収、撤去し、原状回復した件数／電話、メール等で寄せられた不法投棄に関する苦情件数　※令和８年度以降は評価の対象としない。今後は「不適正処理等に対する着手率」を成果指標とする						
(成果)不適正処理等に対する着手率	%	0.00 0.00	0.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	年度内に覚知した新規の産業廃棄物不適正処理等事案に対する着手率　※「不法投棄に係る市民要望の解決率」の代わりとして、令和8年度分より成果指標に設定（令和7実績100%）						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0165
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　仲川　慶
所属　1707　環境部環境施設課　記入者　奥野　裕史
事務事業番号　01148　環境交流館管理運営事業

【基本情報】

総合計画	04	大津市総合計画　第3期実行計画			
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります			
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でグリーンなまちにし			
施策	030	循環型社会の推進			
取組の方向性	002	廃棄物の適正処理			
事務事業	036	環境交流館管理運営事業			
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	大津市伊香立環境交流館条例				
事業概要	（事業概要） 廃棄物の減量化と循環型社会の形成に係る市民意識の高揚を図るとともに、地域コミュニティの活性化を図ることを目的とした施設の管理運営を行う。				
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 廃棄物の減量化と循環型社会の形成に係る市民の意識の高揚を図るとともに、地域のコミュニティの活性化を図る場が求められている。 （見直しや改善等の経過） 環境啓発については大津市リサイクルセンター木戸や環境美化センターを拠点として整えたことや、地域コミュニティ活性化の機能については老朽化のため建て替えた新伊香立市民センターに集約させることから、令和７年度末をもって施設を廃止した。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	市民を対象として
目的（何のために）	廃棄物の減量化と循環型社会の形成に係る市民意識の高揚を図るとともに、地域コミュニティの活性化を図るため
手段（どのようなやり方で）	コミュニティ活動のための場所を提供し、環境ポスター等による情報の提供と啓発を行うことで
成果（どのような 状態にするのか）	地域コミュニティが活性化し、更なる地域環境の向上に繋がる。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	13,895	17,557	98,067	0	0	0	0
事業費	2,189	4,997	89,879	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	79,200	0	0	0	0
その他	4	4	0	0	0	0	0
一般財源	2,185	4,993	10,679	0	0	0	0
人件費計	11,706	12,560	8,188	0	0	0	0
事務・技術（人）	0.27	0.25	0.93	0.00	0.00	0.00	0.00
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	2.40	2.40	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0165
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1707　環境部環境施設課
事務事業番号　01148　環境交流館管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-20-30-00-01-00	環境交流館管理運営事業費	環境部環境施設課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)開設日数	日	297.00	300.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		298.00	299.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)利用者数	人	6,500.00	6,500.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		9,737.00	10,234.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	廃棄物の減量に関し住民の自主的な活動の促進が図れている			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	地域に認識され、利用者数は目標値を大きく超えている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	効率的な施設管理及び修繕に努めている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	廃棄物の減量化と循環型社会の形成に係る市民意識の高揚を図る			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	事業の抜本的見直しや廃止が必要	事業の方向性	縮小
所属コメント（４００文字）	循環型社会の形成に係る市民意識の高揚と地域のまちづくりに貢献できる施設として、市民ニーズに合わせた運営に努めてきたが、環境啓発については大津市リサイクルセンター木戸や環境美化センターを拠点として整えたことや、地域コミュニティ活性化の機能については老朽化のため建て替えた新伊香立市民センターに集約させることから、令和７年度末をもって施設を廃止した。		

【部局評価結果】

総合評価	事業の抜本的見直しや廃止が必要	事業の方向性	縮小
部局コメント（４００文字）	循環型社会の形成に係る市民意識の高揚と地域のまちづくりに貢献できる施設として、市民ニーズに合わせた運営に努めていることから、来館者数の目標値を上回ることができた。 なお、令和８年度に竣工した新伊香立市民センターへの機能集約に伴い、令和７年度末に施設を廃止した。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1707　環境部環境施設課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　01148　環境交流館管理運営事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)開設日数	日	297.00	300.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		298.00	299.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	伊香立環境交流館の開設日数						
(成果)利用者数	人	6,500.00	6,500.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		9,737.00	10,234.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	伊香立環境交流館の年間利用者数						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0166
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　仲川　慶
所属　1707　環境部環境施設課　記入者　平井　慎一
事務事業番号　01164　地区環境整備事業（北部クリーンセンター）

【基本情報】

総合計画	04	大津市総合計画　第3期実行計画			
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります			
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でグリーンなまちにし			
施策	030	循環型社会の推進			
取組の方向性	002	廃棄物の適正処理			
事務事業	032	地区環境整備事業（北部クリーンセンター）			
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律　地方自治法				
事業概要	（事業概要） 大津市北部で排出される一般廃棄物を適正に収集し、処分することにより、北部地域の生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、北部クリーンセンターの操業を行っている。施設が立地する地域では、ごみ収集車が頻繁に走行するなど、他の地域にはない影響があるため、施設周辺地域がより住みやすい環境となるよう、市全体の水準に照らしつつ、課題に対する対策を講じている。				
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 施設が立地する地域では、他の地域とは異なる課題が存在する。そのため、引き続き課題解消に取り組んでいく必要がある。 （見直しや改善等の経過） 平成２５年度に地区環境整備事業の在り方についての見直しを行い、市の行政活動に対する説明責任を果たすとともに、透明性や公平性をより高め、市民に理解が得られるよう適正な事業執行に努めている。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	伊香立学区自治連合会を対象として
目的(何のために)	北部クリーンセンターの円滑な運営のため
手段(どのようなやり方で)	直接事業や補助事業を実施することで
成果(どのような 状態にするのか)	施設周辺地域のより住みやすい生活環境の実現を図り、北部クリーンセンターの円滑な運営を確保する。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	55,063	55,411	58,025	65,201	65,201	65,201	65,201
事業費	30,259	31,971	33,945	40,001	40,001	40,001	40,001
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	30,259	31,971	33,945	40,001	40,001	40,001	40,001
人件費計	24,804	23,440	24,080	25,200	25,200	25,200	25,200
事務・技術（人）	3.18	2.93	3.01	3.15	3.15	3.15	3.15
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0166
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1707　環境部環境施設課
事務事業番号　01164　地区環境整備事業（北部クリーンセンター）

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-20-26-00-01-00	地区環境整備事業費（北部クリーンセンター）	環境部環境施設課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)事業補助数	件	40.00 41.00	40.00 48.00	40.00 0.00	40.00 0.00	40.00 0.00	40.00 0.00	40.00 0.00
(成果)事業効率化指数	―	1.00 1.19	1.00 1.15	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	処理施設の設置及び運営のため、覚書に基づく事業の実施である			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	事業実施により周辺地域住民から理解を得られている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	優先順位の高いものから順に事業を実施している			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	当該事業は市民の生活環境の保全と公衆衛生の向上に貢献している			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	施設が立地する地域では、ごみ収集車が頻繁に走行するなど、他の地域にはない影響があるため、施設周辺地域がより住みやすい環境となるよう、市全体の水準に照らしつつ、今後も課題に対する対策を講じていく。 なお、令和７年度については、補助事業を中心に住民満足度を高めつつ、事業の効率化を図ることができた。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	今後も、ごみ処理施設周辺地域の生活環境の維持・向上を見据え、補助制度の活用を中心として、地域住民の満足度を高める事業を推進し、地域のさらなる理解を得るとともに、市内全域の廃棄物処理行政の推進を図るものとする。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1707　環境部環境施設課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　01164　地区環境整備事業（北部クリーンセンター）

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)事業補助数	件	40.00 41.00	40.00 48.00	40.00 0.00	40.00 0.00	40.00 0.00	40.00 0.00	40.00 0.00
	指標説明	年間支出事業補助件数						
(成果)事業効率化指数	―	1.00 1.19	1.00 1.15	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00
	指標説明	１事業あたり目標値÷１事業あたり実績値　数値が大きいほど安価に事業が実施できたこととなる						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0167
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　仲川　慶
所属　1707　環境部環境施設課　記入者　野﨑　尚吾
事務事業番号　01165　地区環境整備事業（環境美化センター）

【基本情報】

総合計画	04	大津市総合計画　第3期実行計画			
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります			
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でグリーンなまちにし			
施策	030	循環型社会の推進			
取組の方向性	002	廃棄物の適正処理			
事務事業	033	地区環境整備事業（環境美化センター）			
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律　地方自治法				
事業概要	（事業概要） 大津市南部で排出される一般廃棄物を適正に収集し、処分することにより、南部地域の生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、環境美化センターの操業を行っている。施設が立地する地域では、ごみ収集車が頻繁に走行するなど、他の地域にはない影響があるため、施設周辺地域がより住みやすい環境となるよう、市全体の水準に照らしつつ、課題に対する対策を講じている。				
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 施設が立地する地域では、他の地域とは異なる課題が存在する。そのため、引き続き課題解消に取り組んでいく必要がある。 （見直しや改善等の経過） 平成２５年度に地区環境整備事業の在り方についての見直しを行い、市の行政活動に対する説明責任を果たすとともに、透明性や公平性をより高め、市民に理解が得られるよう適正な事業執行に努めている。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	富士見学区自治連合会を対象として
目的(何のために)	環境美化センターの円滑な運営のため
手段(どのようなやり方で)	直接事業及び補助事業を実施することで
成果(どのような 状態にするのか)	施設周辺地域のより住みやすい生活環境の実現を図り、環境美化センターの円滑な運営を確保する。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	48,649	46,504	48,388	54,303	54,303	54,303	54,303
事業費	36,247	34,824	36,388	41,743	41,743	41,743	41,743
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	36,247	34,824	36,388	41,743	41,743	41,743	41,743
人件費計	12,402	11,680	12,000	12,560	12,560	12,560	12,560
事務・技術（人）	1.59	1.46	1.50	1.57	1.57	1.57	1.57
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0167
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1707　環境部環境施設課
事務事業番号　01165　地区環境整備事業（環境美化センター）

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-20-26-00-04-00	地区環境整備事業費（環境美化センター）	環境部環境施設課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)事業補助数	件	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
		7.00	8.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)事業効率化指数	―	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
		1.00	1.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	処理施設の設置及び運営のため、覚書に基づく事業の実施である			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	事業実施により周辺地域住民から理解を得られている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	優先順位の高いものから順に事業を実施している			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	当該事業は市民の生活環境の保全と公衆衛生の向上に貢献している			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	施設が立地する地域では、ごみ収集車が頻繁に走行するなど、他の地域にはない影響があるため、施設周辺地域がより住みやすい環境となるよう、市全体の水準に照らしつつ、今後も課題に対する対策を講じていく。 なお、令和７年度については、補助事業を中心に住民満足度を高めつつ、事業の効率化を図ることができた。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	今後も、ごみ処理施設周辺地域の生活環境の維持・向上を見据え、補助制度の活用を中心として、地域住民の満足度を高める事業を推進し、地域のさらなる理解を得るとともに、市内全域の廃棄物処理行政の推進を図るものとする。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1707　環境部環境施設課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　01165　地区環境整備事業（環境美化センター）

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)事業補助数	件	4.00 7.00	4.00 8.00	4.00 0.00	4.00 0.00	4.00 0.00	4.00 0.00	4.00 0.00
	指標説明	年間支出事業補助件数						
(成果)事業効率化指数	―	1.00 1.00	1.00 1.17	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00
	指標説明	１事業あたり目標値÷１事業あたり実績値　数値が大きいほど安価に事業が実施できたこととなる						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0168
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　仲川　慶
所属　1707　環境部環境施設課　記入者　平井　慎一
事務事業番号　01166　地区環境整備事業（北部廃棄物最終処分場）

【基本情報】

総合計画	04	大津市総合計画　第3期実行計画			
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります			
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でグリーンなまちにし			
施策	030	循環型社会の推進			
取組の方向性	002	廃棄物の適正処理			
事務事業	034	地区環境整備事業（北部廃棄物最終処分場）			
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律　地方自治法				
事業概要	（事業概要） 大津市北部で排出される一般廃棄物を適正に収集し、処分することにより、北部地域の生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、北部廃棄物最終処分場の操業を行っている。施設が立地する地域では、最終処分場への搬入車両が頻繁に走行するなど、他の地域にはない影響があるため、施設周辺地域がより住みやすい環境となるよう、市全体の水準に照らしつつ、課題に対する対策を講じている。				
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 施設が立地する地域では、他の地域とは異なる課題が存在する。そのため、引き続き課題解消に取り組んでいく必要がある。 （見直しや改善等の経過） 平成２５年度に地区環境整備事業の在り方についての見直しを行い、市の行政活動に対する説明責任を果たすとともに、透明性や公平性をより高め、市民に理解が得られるよう適正な事業執行に努めている。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	龍華自治会を対象として
目的(何のために)	北部廃棄物最終処分場の円滑な運営のため
手段(どのようなやり方で)	直接事業や補助事業を実施することで
成果(どのような 状態にするのか)	施設周辺地域のより住みやすい生活環境の実現を図り、北部廃棄物最終処分場の円滑な運営を確保する。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	7,915	7,170	7,209	7,989	7,989	7,989	7,989
事業費	5,809	5,250	5,209	5,909	5,909	5,909	5,909
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	1	1	1	1	1	1
一般財源	5,808	5,249	5,208	5,908	5,908	5,908	5,908
人件費計	2,106	1,920	2,000	2,080	2,080	2,080	2,080
事務・技術（人）	0.27	0.24	0.25	0.26	0.26	0.26	0.26
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0168
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1707　環境部環境施設課
事務事業番号　01166　地区環境整備事業（北部廃棄物最終処分場）

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-25-41-00-01-00	地区環境整備事業費（北部廃棄物最終処分場）	環境部環境施設課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)事業補助数	件	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
		3.00	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)事業効率化指数	―	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
		1.02	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	処理施設の設置及び運営のため、覚書に基づく事業の実施である			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	事業実施により周辺地域住民から理解を得られている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	優先順位の高いものから順に事業を実施している			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	当該事業は市民の生活環境の保全と公衆衛生の向上に貢献している			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	施設が立地する地域では、最終処分場への搬入車両が頻繁に走行するなど、他の地域にはない影響があるため、施設周辺地域がより住みやすい環境となるよう、市全体の水準に照らしつつ、今後も課題に対する対策を講じていく。 なお、令和７年度については、計画どおり補助事業が実施されたため、事業効率化指数は計画値どおりである。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	今後も、ごみ処理施設周辺地域の生活環境の維持・向上を見据え、補助制度の活用を中心として、地域住民の満足度を高める事業を推進し、地域のさらなる理解を得るとともに、市内全域の廃棄物処理行政の推進を図るものとする。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1707　環境部環境施設課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　01166　地区環境整備事業（北部廃棄物最終処分場）

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)事業補助数	件	2.00 3.00	2.00 2.00	2.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00
	指標説明	年間支出事業補助件数						
(成果)事業効率化指数	―	1.00 1.02	1.00 1.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00
	指標説明	１事業あたり目標値÷１事業あたり実績値　数値が大きいほど安価に事業が実施できたこととなる						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0169
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　仲川　慶
所属　1707　環境部環境施設課　記入者　野﨑　尚吾
事務事業番号　01169　地区環境整備事業（大田廃棄物最終処分場）

【基本情報】

総合計画	04	大津市総合計画　第3期実行計画			
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります			
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でグリーンなまちにし			
施策	030	循環型社会の推進			
取組の方向性	002	廃棄物の適正処理			
事務事業	035	地区環境整備事業（大田廃棄物最終処分場）			
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律　地方自治法				
事業概要	（事業概要） 大津市南部で排出される一般廃棄物を適正に収集し、処分することにより、南部地域の生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、大田廃棄物最終処分場の操業を行っている。施設が立地する地域では、最終処分場への搬入車両が頻繁に走行するなど、他の地域にはない影響があるため、施設周辺地域がより住みやすい環境となるよう、市全体の水準に照らしつつ、課題に対する対策を講じている。				
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 施設が立地する地域では、他の地域とは異なる課題が存在する。そのため、引き続き課題解消に取り組んでいく必要がある。 （見直しや改善等の経過） 平成２５年度に地区環境整備事業のあり方についての見直しを行い、市の行政活動に対する説明責任を果たすとともに、透明性や公平性をより高め、市民に理解が得られるよう適正な事業執行に努めている。 また大石学区自治連合会及び曽束町自治会と令和７年１月２４日に覚書を更新し、地区環境整備事業の補助事業を見直した（小田原自治会とは期間満了）				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	大石学区自治連合会、曽束町自治会を対象として
目的(何のために)	大田廃棄物最終処分場の円滑な運営のため
手段(どのようなやり方で)	直接事業及び補助事業を実施することで
成果(どのような 状態にするのか)	施設周辺地域のより住みやすい生活環境の実現を図り、大田廃棄物最終処分場の円滑な運営を確保する。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	39,744	65,308	41,971	56,829	91,829	56,829	56,829
事業費	16,968	43,868	18,691	31,629	66,629	31,629	31,629
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	16,968	43,868	18,691	31,629	66,629	31,629	31,629
人件費計	22,776	21,440	23,280	25,200	25,200	25,200	25,200
事務・技術（人）	2.92	2.68	2.91	3.15	3.15	3.15	3.15
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0169
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1707　環境部環境施設課
事務事業番号　01169　地区環境整備事業（大田廃棄物最終処分場）

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-25-41-00-09-00	地区環境整備事業費（大田廃棄物最終処分場）	環境部環境施設課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)事業補助数	件	13.00 18.00	13.00 3.00	2.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00
(成果)事業効率化指数	―	1.00 1.20	1.00 0.89	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	処理施設の設置及び運営のため、覚書に基づく事業の実施である			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	事業実施により周辺地域住民から理解を得られている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	優先順位の高いものから順に事業を実施している			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	当該事業は市民の生活環境の保全と公衆衛生の向上に貢献している			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	施設が立地する地域では、最終処分場への搬入車両が頻繁に走行するなど、他の地域にはない影響があるため、施設周辺地域がより住みやすい環境となるよう、市全体の水準に照らしつつ、今後も課題に対する対策を講じていく。令和７年１月２４日の覚書更新に伴い、令和８年度より定量評価の目標数を見直した。 令和７年度については計画より１事業の実施を見送ったため、事業効率化指数は計画値より低くなった。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	今後も、ごみ処理施設周辺地域の生活環境の維持・向上を見据え、補助制度の活用を中心として、地域住民の満足度を高める事業を推進し、地域のさらなる理解を得るとともに、市内全域の廃棄物処理行政の推進を図るものとする。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1707　環境部環境施設課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　01169　地区環境整備事業（大田廃棄物最終処分場）

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)事業補助数	件	13.00 18.00	13.00 3.00	2.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00
	指標説明	年間支出事業補助件数　※Ｒ７．１．２４の覚書更新に伴い、令和８年度より目標値を修正						
(成果)事業効率化指数	―	1.00 1.20	1.00 0.89	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00
	指標説明	１事業あたり目標値÷１事業あたり実績値　数値が大きいほど安価に事業が実施できたこととなる						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0170
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　仲川　慶
所属　1707　環境部環境施設課　記入者　野﨑　尚吾
事務事業番号　01170　地区環境整備事業（衛生プラント）

【基本情報】

総合計画	04	大津市総合計画　第3期実行計画			
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります			
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でグリーンなまちにし			
施策	030	循環型社会の推進			
取組の方向性	002	廃棄物の適正処理			
事務事業	037	地区環境整備事業（衛生プラント）			
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律　地方自治法				
事業概要	（事業概要） 大津市で排出されるし尿を適正に収集し、処分することにより、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図っている。施設が立地する地域では、し尿収集車が頻繁に走行するなど、他の地域にはない影響があるため、施設周辺地域がより住みやすい環境となるよう、市全体の水準に照らしつつ、課題に対する対策を講じている。				
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 施設が立地する地域では、他の地域とは異なる課題が存在する。そのため、引き続き課題解消に取り組んでいく必要がある。 （見直しや改善等の経過） 平成２５年度に地区環境整備事業の在り方についての見直しを行い、市の行政活動に対する説明責任を果たすとともに、透明性や公平性をより高め、市民に理解が得られるよう適正な事業執行に努めている。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	小松学区自治連合会、田上学区自治連合会、堂町自治会、白百合自治会の市民を対象として
目的(何のために)	衛生プラントの円滑な運営のため
手段(どのようなやり方で)	直接事業及び補助事業を実施することで
成果(どのような 状態にするのか)	施設周辺地域のより住みやすい生活環境の実現を図り、衛生プラントの円滑な運営を確保する。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	3,606	3,420	3,500	3,580	3,580	3,580	3,580
事業費	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
人件費計	2,106	1,920	2,000	2,080	2,080	2,080	2,080
事務・技術（人）	0.27	0.24	0.25	0.26	0.26	0.26	0.26
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0170
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1707　環境部環境施設課
事務事業番号　01170　地区環境整備事業（衛生プラント）

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-30-46-00-07-00	地区環境整備事業費（衛生プラント）	環境部環境施設課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)事業補助数	件	1.00 1.00	1.00 1.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00
(成果)事業効率化指数	―	1.00 1.00	1.00 1.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	処理施設の設置及び運営のため、覚書に基づく事業の実施である			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	事業実施により周辺地域住民から理解を得られている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	優先順位の高いものから順に事業を実施している			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	当該事業は市民の生活環境の保全と公衆衛生の向上に貢献している			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	し尿処理施設の再編に伴い、南部衛生プラントについては令和３年度末で操業を終了している。それに伴い補助事業についても令和３年度末をもって終了しており、現在、当該施設の跡地利用について地元と協議を進めている。また、志賀衛生プラントへの搬入量の増加に伴い、小松学区自治連合会と覚書を交換し、令和４年度から地区環境整備事業を実施している。 なお、令和７年度については、計画どおり補助事業が実施されたため、事業効率化指数は計画値どおりである。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	し尿処理施設の集約化を目的に、南部衛生プラントは令和3年度に操業を終了し、これに伴う関連事業も終えたところであり、現在プラント施設を解体除却した後の有益な利活用について地域と協議を進めている。 また志賀衛生プラントの操業に伴う小松学区に対しては、し尿処理施設周辺地域の生活環境の維持・向上を見据え、振興補助を通じて、地域住民の満足度を高める取組を支援し、地域のさらなる理解を得るとともに、市内全域のし尿処理行政の推進を図るものとする。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1707　環境部環境施設課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　01170　地区環境整備事業（衛生プラント）

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)事業補助数	件	1.00 1.00	1.00 1.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00
	指標説明	年間支出事業補助件数						
(成果)事業効率化指数	―	1.00 1.00	1.00 1.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00
	指標説明	１事業あたり目標値÷１事業あたり実績値　数値が大きいほど安価に事業が実施できたこととなる						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0171
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　清水　一義
所属　1702　環境部環境美化センター　記入者　山田　創
事務事業番号　01175　環境美化センター管理運営事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	003　安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	012　再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でグリーンなまちにし				
施策	029　脱炭素社会の推進				
取組の方向性	001　創エネルギー・省エネルギーの推進				
事務事業	017　環境美化センター管理運営事業				
運営方法	民間委託				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、ダイオキシン類対策特別措置法				
事業概要	（事業概要） ２０年間に及ぶ運営委託契約を踏まえ、特別目的会社による環境美化センター焼却施設・リサイクル施設の運営業務の履行状況を確認するため、市職員による定期並び随時のモニタリングを実施し、処理施設が持つ能力が適切に発揮され、大津市南部地域から発生する燃やせるごみ、燃やせないごみ、大型ごみの適正かつ円滑な処理及び、かん、びん、ペットボトルの資源化が図られるよう、特別目的会社に対する適正な運営管理上の指導監督を行う。				
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） ごみ処理事業は、市民生活と直結しているため市民の関心も高く、排ガス基準を遵守しながら施設を稼働させており、その重要性は大きい。並行して、ごみの分別・減量を推進することが社会的に求められている。 （これまでの見直し） ＤＢＯ方式（公共が資金調達し、民間事業者に設計・施工・運営を一括して委託する方式）で整備を進めてきたごみ処理施設整備事業について、令和５年３月に環境美化センターを構成する全ての施設が完成した。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	家庭から排出される燃やせるごみ、大型ごみほか及び事業系一般廃棄物の燃やせるごみ、大型ごみを
目的(何のために)	大津市環境美化センターに搬入されるごみの適正かつ円滑な処理及び資源化を実現するため
手段(どのようなやり方で)	焼却施設及びリサイクル施設の適正な運転で、規制基準や協定値を遵守し
成果(どのような 状態にするのか)	安全かつ安定した運転操業を実施し、大津市南部区域から発生する一般廃棄物の適正な処理を図る

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	365,691	406,809	416,087	454,024	454,424	454,424	454,424
事業費	351,971	388,929	398,207	436,144	436,144	436,144	436,144
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	277,062	286,171	282,000	278,587	278,587	278,587	278,587
一般財源	74,909	102,758	116,207	157,557	157,557	157,557	157,557
人件費計	13,720	17,880	17,880	17,880	18,280	18,280	18,280
事務・技術（人）	1.40	1.85	1.85	1.85	1.90	1.90	1.90
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.70	0.70	0.70	0.70	0.70	0.70	0.70
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0171
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1702　環境部環境美化センター
事務事業番号　01175　環境美化センター管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-20-71-00-01-00	環境美化センター管理運営事業費	環境部環境美化センター

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)月次モニタリング会議実施回数	回	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00
		12.00	12.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)焼却施設実稼働率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		100.35	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)ごみ発電による電力使用率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		96.44	97.26	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)資源ごみの処分率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		102.15	98.96	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	廃棄物処理法において一般廃棄物の処理が市町村の責務である。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	計画どおり適正に安定してゴミ処理及び再資源化を図っている。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	特別目的会社の管理運営により効率よく安定した操業ができた。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	円滑なゴミ処理を継続することで、ごみの適正処理に貢献した。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	環境美化センターは、市民生活の維持に必要不可欠なインフラであり、クリーンで快適な生活環境を保持するため、処理施設が持つ能力が適切に発揮し、一般廃棄物の適正かつ円滑な処理並びに資源化が図られるよう、特別目的会社に対する適正な運営管理上の指導監督をこれまでどおり行っていく。令和７年度は、運営業務の履行状況を確認するため、市職員による定期及び随時のモニタリングを適切に実施し、焼却施設及びリサイクル施設の安全かつ安定した操業を図ることができた。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	市民生活に欠かせない施設であり、自ら設定した基準を常に遵守し安定かつ安全に操業できたことに加え、ごみ焼却時に発生する熱を利用し計画的な発電による場内使用率並びに実稼働率からも明らかなように１年間の業務成果としては適正であったと評価している。今後も、運営業務の履行状況を評価するためにモニタリングを実施し、適正な運営管理上の必要な執行管理・指導を運営事業者に行うほか、啓発施設の活用と施設見学者への対応を通じて、処理施設だからこそ担えるごみの減量や資源再利用意識の普及啓発を推進する。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1702　環境部環境美化センター
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　01175　環境美化センター管理運営事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)月次モニタリング会議実施回数	回	12.00 12.00	12.00 12.00	12.00 0.00	12.00 0.00	12.00 0.00	12.00 0.00	12.00 0.00
	指標説明	令和３年度稼働焼却施設並びに令和２年度稼働リサイクル施設における月次モニタリング会議の実施※令和３年度より本格的に民間事業者による管理運営となったため、指標の見直しを図った。						
(活動)焼却施設実稼働率	%	100.00 100.35	100.00 100.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	〔２炉年間運転実績日数／２炉年間運転計画日数〕×１００　※令和３年度稼働した新焼却施設対象※令和３年度より本格的に民間事業者による管理運営となったため、指標の見直しを図った。						
(成果)ごみ発電による電力使用率	%	100.00 96.44	100.00 97.26	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	〔ごみ発電による電力施設内利用日数／暦日数〕×１００　※令和３年度稼働した新焼却施設対象※令和３年度より本格的に民間事業者による管理運営となったため、指標の見直しを図った。						
(成果)資源ごみの処分率	%	100.00 102.15	100.00 98.96	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	〔資源ごみ処理量／資源ごみ搬入量〕×１００　※かん、びん、ペットボトル　※令和３年度より本格的に民間事業者による管理運営となったため、指標の見直しを図った。						
(成果)排ガス中のダイオキシン類濃度基準値遵守率	%	100.00 100.00	100.00 100.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	排ガス１ノルマルリューベ中のダイオキシン類（単位１０億分の１ｇ）量、基準値＝５ｎｇ／ノルマルリューベ※令和３年度より１ｎｇ						
(成果)固化飛灰のダイオキシン類濃度基準値遵守率	%	100.00 100.00	100.00 100.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	飛灰１ｇ中のダイオキシン類の量、基準値＝３ｎｇ／ｇ（直接適用なし）※令和３年度より適用						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0172
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　清水　一義
所属　1702　環境部環境美化センター　記入者　林　豊治
事務事業番号　01176　不燃物処分事業　南部不燃物処分地管理事業

【基本情報】

総合計画	04	大津市総合計画　第3期実行計画			
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります			
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でグリーンなまちにし			
施策	030	循環型社会の推進			
取組の方向性	002	廃棄物の適正処理			
事務事業	018	不燃物処分事業　南部不燃物処分地管理事業			
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、ダイオキシン類対策特別措置法、水質汚濁防止法				
事業概要	（事業概要） 南部不燃物処分地は昭和５７年７月から昭和６２年６月まで、第二南部不燃物処分地は平成元年６月から平成６年７月まで埋立処分を行い、その後も浸出水処理施設の運転、維持管理に努めており、両処分地ともに浸出水の水質は、法令上の維持管理基準は満たし安定している。また、引き続き水質や発生ガスの調査を行い適切な維持管理を行う。				
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 埋立処分は終了し、廃止に向けて適切に維持管理を行う必要がある。 （これまでの見直し） 浸出水処理施設の整備補修を適宜行い、維持管理に努め浸出水を安全に処理してきた。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	南部・第二南部不燃物浸出水処理施設について
目的(何のために)	不燃物処分地からの浸出水（汚水）を適正に処理するため
手段(どのようなやり方で)	浸出水処理施設の設備機器の点検、及び整備を計画的に実施し
成果(どのような 状態にするのか)	施設の安定運転操業を図る

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	16,965	16,061	17,511	17,672	18,872	18,872	18,872
事業費	11,295	9,791	10,841	11,002	11,002	11,002	11,002
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	11,295	9,791	10,841	11,002	11,002	11,002	11,002
人件費計	5,670	6,270	6,670	6,670	7,870	7,870	7,870
事務・技術（人）	0.55	0.60	0.65	0.65	0.80	0.80	0.80
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
会計年度任用（人）	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0172
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1702　環境部環境美化センター
事務事業番号　01176　不燃物処分事業　南部不燃物処分地管理事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-25-76-00-04-00	南部不燃物処分地管理費	環境部環境美化センター

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)水質検査回数	回	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
		4.00	4.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)発生ガス検査回数	回	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00
		3.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)水質基準値遵守率（ＣＯＤ・南部）	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)水質基準値遵守率（ＣＯＤ・第二南部）	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	廃棄物処理法において一般廃棄物の処理が市町村の責務である。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	放流水（処理水）の排出基準を満足している。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	施設の運転管理は安定した操業ができた。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	効率的に安定処理の向上が図れている。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	放流水及び浸出水の水質については廃止基準に収まっているものの、未だに埋立地からのガス発生量が廃止基準に収まっていないため、引き続き監視するとともに、適切な維持管理に努める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	南部不燃物処分地におけるガス発生状況、水質の変化（推移）を把握しながら、施設の廃止を見据えて、適切な維持管理を続ける。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1702　環境部環境美化センター
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　01176　不燃物処分事業　南部不燃物処分地管理事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)水質検査回数	回	4.00 4.00	4.00 4.00	4.00 0.00	4.00 0.00	4.00 0.00	4.00 0.00	4.00 0.00
	指標説明	浸出水及び処理水中のＣＯＤ、窒素等の年間測定回数						
(活動)発生ガス検査回数	回	3.00 3.00	3.00 3.00	3.00 0.00	3.00 0.00	3.00 0.00	3.00 0.00	3.00 0.00
	指標説明	発生ガスの量、質の年間測定回数						
(成果)水質基準値遵守率（ＣＯＤ・南部）	%	100.00 100.00	100.00 100.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	処理水中のＣＯＤ基準値＝２０ｍｇ／ｌ						
(成果)水質基準値遵守率（ＣＯＤ・第二南部）	%	100.00 100.00	100.00 100.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	処理水中のＣＯＤ基準値＝２０ｍｇ／ｌ						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0173
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　清水　一義
所属　1702　環境部環境美化センター　記入者　林　豊治
事務事業番号　01177　大田廃棄物最終処分場管理事業

【基本情報】

総合計画	04	大津市総合計画　第3期実行計画			
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります			
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でグリーンなまちにし			
施策	030	循環型社会の推進			
取組の方向性	002	廃棄物の適正処理			
事務事業	019	大田廃棄物最終処分場管理事業			
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、ダイオキシン類対策特別措置法、水質汚濁防止法				
事業概要	（事業概要） 環境美化センターからの焼却灰、リサイクル施設からの破砕不燃物などを適正かつ円滑に埋立処分を行い、また埋立地から発生する浸出水を適正に処理する。				
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 埋立搬入物や処理水の水質などは、法律及び地元との協定を遵守し適正処理を行っている。また、定期的に地元に対して搬入状況及び水質関係等結果の報告を行っている。 （これまでの見直し） 埋立物に起因する浸出水の水質変化に対応するため、水処理施設の全ての工程を稼働させ、適切な薬剤の添加や生物処理槽の安定化を図ることで、浸出水の適正処理を行っている。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	焼却灰、破砕不燃物及び持ち込みの燃やせないごみを受け入れ、埋立処分場から発生する浸出水の処理等を
目的(何のために)	焼却灰等不燃性一般廃棄物を適正に最終処分し、良好な水環境を保つため
手段(どのようなやり方で)	最終処分場の構造基準、維持管理基準に基づき、埋立処分及び浸出水処理施設の適切な運転管理を実施し
成果(どのような 状態にするのか)	①衛生的で安全な埋立処分②放流水（処理水）の水質基準値の遵守を図る

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	83,475	85,324	93,849	95,765	96,965	96,965	96,965
事業費	69,215	68,944	77,869	79,785	79,785	79,785	79,785
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	244	223	290	290	290	290	290
一般財源	68,971	68,721	77,579	79,495	79,495	79,495	79,495
人件費計	14,260	16,380	15,980	15,980	17,180	17,180	17,180
事務・技術（人）	0.90	1.10	1.05	1.05	1.20	1.20	1.20
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80
会計年度任用（人）	0.65	0.65	0.65	0.65	0.65	0.65	0.65
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0173
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1702　環境部環境美化センター
事務事業番号　01177　大田廃棄物最終処分場管理事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-25-76-00-06-00	大田廃棄物最終処分場管理費	環境部環境美化センター

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)水質検査回数	回	12.00 12.00	12.00 12.00	12.00 0.00	12.00 0.00	12.00 0.00	12.00 0.00	12.00 0.00
(成果)水質基準値遵守率（ＣＯＤ）	%	100.00 100.00	100.00 100.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	廃棄物処理法において一般廃棄物の処理が市町村の責務である。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	適正に埋立処分し、排水（放流水）は環境保全協定値を満足する。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	民間事業者の運転管理により効率よく安定した操業ができた。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	効率的に安定処理の向上が図れている。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	埋立地（第1期、第2期）について、引き続き維持管理基準に基づき埋立処分を行う。また、汚水処理施設の適正な運転管理に努める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	最終処分場の構造基準、維持管理基準に基づき、適正な運営管理を続けるとともに、浸出水の水質（推移）を常に把握し、状況に応じ課題の把握と有効な対策について協議を行うものとする。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1702　環境部環境美化センター
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　01177　大田廃棄物最終処分場管理事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)水質検査回数	回	12.00 12.00	12.00 12.00	12.00 0.00	12.00 0.00	12.00 0.00	12.00 0.00	12.00 0.00
	指標説明	浸出水及び処理水中のＣＯＤ、窒素等の年間測定回数						
(成果)水質基準値遵守率（ＣＯＤ）	%	100.00 100.00	100.00 100.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	処理水中のＣＯＤ基準値＝２０ｍｇ／ｌ						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0174
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　清水　一義
所属　1702　環境部環境美化センター　記入者　浜崎　亨
事務事業番号　02217　中町淀町最終処分場管理運営事業

【基本情報】

総合計画	04	大津市総合計画　第3期実行計画			
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります			
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でグリーンなまちにし			
施策	030	循環型社会の推進			
取組の方向性	002	廃棄物の適正処理			
事務事業	025	中町淀町最終処分場管理運営事業			
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、ダイオキシン類対策特別措置法、水質汚濁防止法				
事業概要	（事業概要） 大石中町廃棄物最終処分場及び大石淀町廃棄物最終処分場から発生する浸出水を水処理施設で安全に処理する。 また、環境保全協定書に基づき最終処分場及び周辺の生活環境の保全に努める。				
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 大石中町廃棄物最終処分場は平成１０年度末、大石淀町廃棄物最終処分場は平成２５年度末をもって埋立処分が終了し、現在、各施設において浸出水の適正処理を行っている。また、大石淀町廃棄物最終処分場は表層利用として大津大石淀グラウンド・ゴルフ場が令和６年６月に供用された。 （これまでの見直し） 大石中町廃棄物最終処分場については、処理施設に流入する浸出水の水質が改善され良好な状態となっていることから、令和７年度に廃止の手続きを行った。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	最終処分場から発生する浸出水について
目的(何のために)	最終処分場水処理施設を適正に維持管理するため
手段(どのようなやり方で)	最終処分場の構造基準、維持管理基準に基づき、浸出水処理施設の適正な運転管理を実施し
成果(どのような 状態にするのか)	放流水（処理水）の環境保全協定値の遵守及び埋立地を含めた周辺の環境美化に努める

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	62,711	62,465	73,635	69,657	68,457	68,457	68,457
事業費	57,231	55,975	66,745	62,767	62,767	62,767	62,767
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	57,231	55,975	66,745	62,767	62,767	62,767	62,767
人件費計	5,480	6,490	6,890	6,890	5,690	5,690	5,690
事務・技術（人）	0.50	0.60	0.65	0.65	0.50	0.50	0.50
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
会計年度任用（人）	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0174
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1702　環境部環境美化センター
事務事業番号　02217　中町淀町最終処分場管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-25-76-00-11-00	中町淀町最終処分場管理運営事業費	環境部環境美化センター

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)水質検査回数	回	12.00	12.00	12.00	4.00	4.00	4.00	4.00
		12.00	12.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)ＣＯＤ、窒素等の水質基準値遵守率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)排水中のダイオキシン類濃度基準値遵守率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	廃棄物処理法において一般廃棄物の処理は市町村の責務である。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	処理水の水質が環境保全協定値を満足している。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	運転管理業務を民間委託することにより効率的に操業できた。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	安定した水処理施設の運転により周辺の環境美化に貢献できた。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	縮小
所属コメント（４００文字）	大石中町汚水処理施設は、浸出水の水質が改善していることから、大石中町廃棄物最終処分場の廃止手続きを行ったが、当面の間は周辺環境の水質の監視を行っていく。大石淀町廃棄物最終処分場は、引き続き汚水処理施設の適正な運転管理に努める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	縮小
部局コメント（４００文字）	浸出水処理施設を適正に運転管理することにより、基準値を下回る水質を保持することができた。中町最終処分場は浸出水の水質並びに発生ガスの結果が法令上の最終処分場の廃止に関する技術上の基準を満足していることから、令和７年度に廃止の手続きを行い完了したことから、汚水処理施設の解体撤去工事を進めており、今後、維持管理を要しないが、当面の間は周辺環境の水質の監視を行っていく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1702　環境部環境美化センター
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　02217　中町淀町最終処分場管理運営事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)水質検査回数	回	12.00 12.00	12.00 12.00	12.00 0.00	4.00 0.00	4.00 0.00	4.00 0.00	4.00 0.00
	指標説明	浸出水及び処理水のＣＯＤ、窒素その他の年間測定回数						
(成果)ＣＯＤ、窒素等の水質基準値遵守率	%	100.00 100.00	100.00 100.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	処理水中のＣＯＤの基準値２０ｍｇ／リットル　窒素の基準値１０ｍｇ／リットル						
(成果)排水中のダイオキシン類濃度基準値遵守率	%	100.00 100.00	100.00 100.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	処理水のダイオキシン類の量、基準値１０ｐｇ－ＴＥＱ／リットル						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0175
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　神山　元伸
所属　1708　環境部北部クリーンセンター　記入者　原田　浩二
事務事業番号　01180　北部クリーンセンター管理運営事業

【基本情報】

総合計画	04	大津市総合計画　第3期実行計画			
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります			
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でグリーンなまちにし			
施策	030	循環型社会の推進			
取組の方向性	002	廃棄物の適正処理			
事務事業	021	北部クリーンセンター管理運営事業			
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	廃掃法、容リ法、ダイオキシン類特措法、プラスチック資源循環促進法				
事業概要	（事業概要） 琵琶湖疏水以北で発生する燃やせるごみ、燃やせないごみ、大型ごみについて民間事業者（SPC）が運営する大津市北部クリーンセンター焼却施設・リサイクル施設に対して、それらの履行状況を確認するため、定期及び随時モニタリング等の適正な運営管理上の指導監督を行うとともに、大津市が直接運営する市内全域のプラスチック製容器包装類の受け入れを行う同容器資源化施設の管理を行う。				
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） ごみ処理事業は市民生活と直結しており、市民の関心も高く、排ガス基準を遵守しながら施設を稼働させる重要性は大きい。並行して、ごみの分別・減量を推進することが社会的に求められている。 （見直しや改善等の経過） 民間事業者による運営管理を行っている施設は、ごみ焼却時に発生する熱による発電を行い、これを売却することにより、事業者への委託費用を低減できる仕組みとしている。（ただし、ごみ量が減少すれば発電量も減少し、委託料が増える要因になる。）				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	家庭から排出される一般廃棄物及び事業系一般廃棄物を
目的(何のために)	北部クリーンセンターに搬入されるごみを適正かつ円滑な処理及び資源化を実現するため
手段(どのようなやり方で)	焼却施設、リサイクル施設及びプラスチック容器資源化施設の適正な運転で、規制基準や協定値を遵守し
成果(どのような 状態にするのか)	安全かつ安定した運転操業を実施し、琵琶湖疏水以北で発生する一般廃棄物の適正な処理を図る。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	544,865	573,087	597,834	620,502	620,502	620,502	620,502
事業費	527,341	557,567	578,394	601,062	601,062	601,062	601,062
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	238,079	262,670	215,994	217,272	217,272	217,272	217,272
一般財源	289,262	294,897	362,400	383,790	383,790	383,790	383,790
人件費計	17,524	15,520	19,440	19,440	19,440	19,440	19,440
事務・技術（人）	1.60	1.39	1.84	1.84	1.84	1.84	1.84
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.58	0.00	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80
会計年度任用（人）	0.42	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0175
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1708　環境部北部クリーンセンター
事務事業番号　01180　北部クリーンセンター管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-20-71-00-02-00	北部クリーンセンター管理運営事業費	環境部北部クリーンセンター

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
（活動）月次モニタリング会議実施回数	回	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00
		12.00	12.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（活動）焼却施設実稼働率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		97.91	99.35	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（成果） 排ガス中のダイオキシン類濃度基準値遵守率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（成果）飛灰処理物のダイオキシン類濃度基準値遵守率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	廃棄物関連の法律を遵守し、一般廃棄物を適正に処理できている			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	計画通りごみ処理し、排ガス等の規制基準は遵守できている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	施設運営は技術がある民間専門業者へ委託し、効率化が図れている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	再生可能エネルギー活用とごみ適正処理で循環型社会の形成に寄与			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	北部クリーンセンターは、市民生活の維持に必要不可欠なインフラであり、クリーンで快適な生活環境を保持するため、処理施設が持つ能力が適切に発揮し、一般廃棄物の適正かつ円滑な処理並びに資源化が図られるよう、これまでどおり、特別目的会社に対して適正な運営管理における指導監督を実施していく。令和７年度は、運営業務の履行状況を確認するため、市職員による定期及び随時のモニタリングを適切に実施し、焼却施設及びリサイクル施設の安全かつ安定した操業を図ることができた。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	市民生活に欠かせない施設であり、常に自ら設定した基準を遵守しつつ適正に操業することを基本的な目標としてきたが、施設の実稼働率からも1年間の業務成果としては適正であったと評価している。 ごみ焼却時に伴う熱を利用した電力について、ごみ焼却量の減少に伴う効果額の縮小等が課題であるが、今後も、モニタリングによる、適正な運営管理上の必要な執行管理・指導を運営事業者に行うものとする。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1708　環境部北部クリーンセンター
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　01180　北部クリーンセンター管理運営事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
（活動）月次モニタリング会議実施回数	回	12.00 12.00	12.00 12.00	12.00 0.00	12.00 0.00	12.00 0.00	12.00 0.00	12.00 0.00
	指標説明	本格稼働した施設の月次モニタリング会議の実施 ※令和４年７月から本格的に民間事業者による管理運営となった。						
（活動）焼却施設実稼働率	%	100.00 97.91	100.00 99.35	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	［２炉年間運転実績日数／２炉年間運転計画日数］×１００ ※令和４年７月から本格的に民間事業者のよる管理運営となった。						
（成果）　排ガス中のダイオキシン類濃度基準値遵守率	%	100.00 100.00	100.00 100.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	排ガス１＿Ｎ中に含まれるダイオキシン類の量（1ngは１０億分の１）、基準値=1ng／＿Ｎ以下						
（成果）飛灰処理物のダイオキシン類濃度基準値遵守率	%	100.00 100.00	100.00 100.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	飛灰１ｇ中のダイオキシン類の量、基準値＝３ng／g						
（成果）資源ごみの処理率	%	100.00 99.70	100.00 100.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	資源ごみの処理量÷資源ごみの搬入量						
（成果）ごみ発電による 電力使用率	%	100.00 96.44	100.00 95.07	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	［ごみ発電による電力施設内利用日数／暦日数］×１００ ※令和４年７月から本格的に民間事業者のよる管理運営となった。						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0176
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　神山　元伸
所属　1708　環境部北部クリーンセンター　記入者　川村　与志治
事務事業番号　01181　北部廃棄物最終処分場管理運営事業

【基本情報】

総合計画	04	大津市総合計画　第3期実行計画			
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります			
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でグリーンなまちにし			
施策	030	循環型社会の推進			
取組の方向性	002	廃棄物の適正処理			
事務事業	022	北部廃棄物最終処分場管理運営事業			
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、下水道法				
事業概要	（事業概要） 北部クリーンセンターから排出される焼却灰、飛灰処理物、破砕不燃物及び琵琶湖疏水以北から排出される持ち込みの燃やせないごみの適正かつ円滑な埋立処分を行う。また、処分場から発生する浸出水を水処理施設で安全に処理するための適正な施設管理を行う。				
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 今日までの「ごみ減量施策」の実施により、ごみ量は減少してきているが、埋立残余年数も短くなってきていることから、さらなる延命化が求められる。 （見直しや改善等の経過） 令和元年からの土堰堤工事築造について、高さを変更（２．５m→１．２５m）し、ごみの埋立枠を増加させ、さらには、令和５年度からフェニックスへの搬出量を１，５００ｔから３，０００ｔに見直し、現処分場の延命化にかかる対策を講じている。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	焼却灰、飛灰処理物、破砕不燃物（破砕処理残渣）等の燃やせないごみを
目的(何のために)	北部最終処分場に搬入される一般廃棄物及び焼却灰等を適正かつ円滑に処理するため
手段(どのようなやり方で)	最終処分場の構造基準、維持管理基準に基づく埋立処分及び浸出水処理施設の適正な運転管理で、水質等の規制基準を遵守し
成果(どのような状態にするのか)	清潔で安全な埋立処分を実施し、放流水（処理水）の水質基準値を遵守する。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	69,330	55,083	56,709	57,749	59,130	59,130	59,130
事業費	47,136	36,523	37,909	38,949	40,330	40,330	40,330
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	238	190	0	0	0	0	0
一般財源	46,898	36,333	37,909	38,949	40,330	40,330	40,330
人件費計	22,194	18,560	18,800	18,800	18,800	18,800	18,800
事務・技術（人）	1.21	1.22	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.42	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	2.58	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0176
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1708　環境部北部クリーンセンター
事務事業番号　01181　北部廃棄物最終処分場管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-25-76-00-07-00	北部廃棄物最終処分場管理運営事業費	環境部北部クリーンセンター

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
（活動）焼却灰、破砕不燃物等の埋立量	㎥	1,500.00	1,500.00	1,500.00	1,500.00	1,500.00	1,500.00	1,500.00
		1,414.28	1,322.80	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（活動）水質検査実施回数	回	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00
		12.00	12.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（成果）放流水の下水道排除基準遵守率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（成果）放流水のダイオキシン類濃度基準値遵守率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	一般廃棄物を適正に処理することは、市町村の責務である。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	廃棄物を計画的に埋立処分し、放流水も排水基準を満足している。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	地域の環境基準に万全を期しながら効率的な管理運営に努めている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	廃棄物を計画的に埋立処分し、ごみの適正処理貢献している。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	廃棄物処理法に基づく維持管理基準を遵守し適切な管理を実施するとともに、周辺環境への影響を把握するため水質調査、悪臭調査及び騒音・振動調査等を確実に実施する。また、現処分場の延命化を図るため、引き続き大阪湾広域臨海環境整備センター（フェニックスセンター）への搬出量の確保に努める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	残容量を見据えながら土堰堤の築造を計画的に行い、適正かつ効率的な処分場の運営管理を続けるとともに、公共下水道の排水基準を遵守できるよう、浸出水処理施設の運転管理を行うものとする。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1708　環境部北部クリーンセンター
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　01181　北部廃棄物最終処分場管理運営事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
（活動）焼却灰、破砕不燃物等の埋立量	㎥	1,500.00 1,414.28	1,500.00 1,322.80	1,500.00 0.00	1,500.00 0.00	1,500.00 0.00	1,500.00 0.00	1,500.00 0.00
	指標説明	焼却灰、破砕不燃物等の埋立量。なお令和５年度よりフェニックスへの搬出量を増加（1,500ｔ→3,000ｔ）させたため目標値を変更している。						
（活動）水質検査実施回数	回	12.00 12.00	12.00 12.00	12.00 0.00	12.00 0.00	12.00 0.00	12.00 0.00	12.00 0.00
	指標説明	浸出水、地下水、放流水の状態を常に把握し、適正な水質管理を行うため水質検査を定期的に実施する。						
（成果）放流水の下水道排除基準遵守率	%	100.00 100.00	100.00 100.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	下水道放流している処理水の下水道排除基準遵守。						
（成果）放流水のダイオキシン類濃度基準値遵守率	%	100.00 100.00	100.00 100.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	下水道放流している処理水のダイオキシン類濃度基準値遵守率。基準値＝１０ｐｇ／ﾘｯﾄﾙ以下						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0177
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　神山　元伸
所属　1708　環境部北部クリーンセンター　記入者　森本　和也
事務事業番号　02622　美化清掃事業

【基本情報】

総合計画	04	大津市総合計画　第3期実行計画			
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります			
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でグリーンなまちにし			
施策	030	循環型社会の推進			
取組の方向性	002	廃棄物の適正処理			
事務事業	027	美化清掃事業			
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	大津市廃棄物の処理及び再利用の促進並びに環境の美化に関する条例				
事業概要	（事業概要） 自治会や各種団体等による美化活動に伴うごみの収集、小・中学校、支所等に設置されている使用済廃乾電池回収箱からの乾電池収集、犬・猫等動物死体の収集業務（委託）、刈草剪定枝の堆肥化により生じた堆肥の市内３か所の配布場所への運搬等を行う。				
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 自治会等による美化活動の実施に伴う環境保全意識の向上や、使用済廃乾電池の拠点回収の認識、道路上の動物死体等発見時の迅速な通報など、市内の美観保持を行うための市民意識の高まりがある。 （見直しや改善等の経過） 職員自らが主体的に担ってきたごみ収集業務について外部委託化を進めてきた一方で、地域の美化活動のほか、地域におけるごみをめぐる課題についてきめ細かく対応するため、人員と車両の配置を行い、直営での収集が可能な体制を整えてきた。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	美化活動等に伴うごみ、廃乾電池の資源ごみ、及び動物の死体を
目的(何のために)	生活環境の美化及びごみの減量・再資源化を図るため
手段(どのようなやり方で)	収集係職員及び委託業者（動物死体に限る）が、じん芥収集車等で迅速に収集を行い
成果(どのような 状態にするのか)	生活環境の保全及び公衆衛生の向上に努め、環境保全を図る。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	49,102	47,121	37,701	39,836	39,836	39,836	39,836
事業費	13,298	12,349	13,350	15,485	15,485	15,485	15,485
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	374	583	374	442	442	442	442
一般財源	12,924	11,766	12,976	15,043	15,043	15,043	15,043
人件費計	35,804	34,772	24,351	24,351	24,351	24,351	24,351
事務・技術（人）	0.50	0.38	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
技能労務（人）	3.58	2.54	1.39	1.39	1.39	1.39	1.39
再任用（人）	0.75	1.82	1.08	1.08	1.08	1.08	1.08
会計年度任用（人）	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0177
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1708　環境部北部クリーンセンター
事務事業番号　02622　美化清掃事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-15-65-00-05-00	美化清掃事業費	環境部北部クリーンセンター

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)美化活動に伴うごみ等の直営収集量	t	200.00 176.00	200.00 194.00	200.00 0.00	200.00 0.00	200.00 0.00	200.00 0.00	200.00 0.00
(活動)動物死体の収集数	体	1,200.00 829.00	1,200.00 747.00	1,200.00 0.00	1,200.00 0.00	1,200.00 0.00	1,200.00 0.00	1,200.00 0.00
(成果)収集応需率	%	100.00 100.00	100.00 100.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	廃棄物処理法を順守し、市が主体となり事業に取り組めている			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	収集依頼に速やかに対応することにより、環境保全に貢献している			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	業務に応じて民間委託と直営事業に区分けできている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	環境保全、市民サービスの両面から貢献度の高い事業である			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	生活環境の美化や公衆衛生の保全の観点から、動物死体の収集依頼については連絡を受けた当日に対応を行い、地域住民が積極的に実施した美化活動に伴うごみの収集については可能な限り希望日に対応してきた。結果として指標に定める目標値(収集量・収集数)に対する実績値には達していないものの、収集応需率は100%となっている。引き続きごみの収集量や動物死体の収集数の推移や情報を把握し、市民サービスの低下とならないよう対応していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	生活環境の保全及び公衆衛生の向上のため、引き続き、きめ細やかで迅速な収集対応により市民サービスの充実と向上に努め、事業のより円滑な推進を図っていく。また、環境整備員の人員数と業務量を見据え、持続可能な取組となるよう検討していく必要がある。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1708　環境部北部クリーンセンター
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　02622　美化清掃事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)美化活動に伴うごみ等の直営収集量	t	200.00 176.00	200.00 194.00	200.00 0.00	200.00 0.00	200.00 0.00	200.00 0.00	200.00 0.00
	指標説明	美化活動に伴うごみ、苦情、廃乾電池等の直営収集量						
(活動)動物死体の収集数	体	1,200.00 829.00	1,200.00 747.00	1,200.00 0.00	1,200.00 0.00	1,200.00 0.00	1,200.00 0.00	1,200.00 0.00
	指標説明	飼犬、飼猫等のペット、野良犬、野良猫等の動物死体の収集数						
(成果)収集応需率	%	100.00 100.00	100.00 100.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	市民からのごみ等収集需要に対する応需率						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0178
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　神山　元伸
所属　1708　環境部北部クリーンセンター　記入者　森本　和也
事務事業番号　04191　資源物等適正処理事業

【基本情報】

総合計画	04 大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	003 安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	012 再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でグリーンなまちにし				
施策	030 循環型社会の推進				
取組の方向性	001 資源循環と食品ロス削減の推進				
事務事業	003 資源物等適正処理事業				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	廃棄物処理法、美化条例・施行規則				
事業概要	市内から排出される一般廃棄物を中間処理施設等において資源化等を実施することにより、適正な処理に資するものとする。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 社会や経済の発展に伴い、生活が豊かになり大量生産・大量消費型であった社会経済システムを循環型社会形成推進基本法や各種リサイクル法等に基づき、３Ｒを推進する循環型社会に転換していく必要がある。 (見直しや改善等の経過) ペットボトルの水平リサイクル実証実験として、令和5年度より一部の施設において独自処理再生事業者への引渡しを行った。令和7年度からは全施設において独自処理再生事業者への引渡しを行った。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	中間処理施設に搬入される一般廃棄物を
目的(何のために)	リサイクルを推進する循環型社会への転換を図るため
手段(どのようなやり方で)	民間事業者等への委託等により
成果(どのような状態にするのか)	個々の廃棄物に応じた効率的で確実なリサイクル体制が確保される。

【コスト】　(単位：千円)

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	19,446	17,553	19,926	20,529	20,529	20,529	20,529
事業費	10,177	8,868	11,318	11,921	11,921	11,921	11,921
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	10,177	8,868	11,318	11,921	11,921	11,921	11,921
一般財源	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	9,269	8,685	8,608	8,608	8,608	8,608	8,608
事務・技術（人）	0.58	0.47	0.59	0.59	0.59	0.59	0.59
技能労務（人）	0.33	0.34	0.17	0.17	0.17	0.17	0.17
再任用（人）	0.17	0.17	0.17	0.17	0.17	0.17	0.17
会計年度任用（人）	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0178
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1708　環境部北部クリーンセンター
事務事業番号　04191　資源物等適正処理事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-15-65-00-03-00	資源物等適正処理事業費	環境部北部クリーンセンター

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
（活動）再商品化引渡数量	Kg	2,145,636.00 1,997,785.00	1,785,636.00 1,682,790.00	1,785,636.00 0.00	1,785,636.00 0.00	1,785,636.00 0.00	1,785,636.00 0.00	1,785,636.00 0.00
（活動）独自処理の再生事業者によるペットボトル再商品化数量	Kg	344,364.00 336,800.00	704,364.00 663,260.00	704,364.00 0.00	704,364.00 0.00	704,364.00 0.00	704,364.00 0.00	704,364.00 0.00
（成果）プラスチック製容器包装ペットボトルベール品質検査結果	%	100.00 100.00	100.00 100.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	各種リサイクル法を厳守し、一般廃棄物を適正に処理している			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	再資源化が適正になされている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	再商品化ルートの一部見直しにより収入の向上も図れている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	リサイクルすることにより、資源物等の適正処理が行えている			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	本市中間処理施設等に搬入されている一般廃棄物は、適正な形で処理ができている。今般各種リサイクル法の適正な運用方針の中に、３Ｒ政策の積極的な推進、家電などを含めた個別リサイクル法の適正な執行・普及啓発、プラスチック資源循環の重要性の高まりを受けたプラスチック資源循環促進法の施行に伴い、資源循環の取組推進が示されている。今後、本市中間処理施設における資源物等の処理は、社会を取り巻く環境や関係法令の整備等も含め総合的に判断し、時代の流れに合致した適正な処理を行っていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	中間処理施設に持ち込まれる一般廃棄物については、サーキュラーエコノミーの考え方を基に、再資源化を行うことなど、環境に配慮した資源物の適正処理を推進していく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1708　環境部北部クリーンセンター
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　04191　資源物等適正処理事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
（活動）再商品化引渡数量	Kg	2,145,636.00 1,997,785.00	1,785,636.00 1,682,790.00	1,785,636.00 0.00	1,785,636.00 0.00	1,785,636.00 0.00	1,785,636.00 0.00	1,785,636.00 0.00
	指標説明	容器包装等廃棄物は、容器包装リサイクル法の基本方針にて適切な処理を行える者に円滑な引渡しが求められるため、同法で指定している容器包装リサイクル協会に引き渡しを行うことにより再商品化を行っている。						
（活動）独自処理の再生事業者によるペットボトル再商品化数量	Kg	344,364.00 336,800.00	704,364.00 663,260.00	704,364.00 0.00	704,364.00 0.00	704,364.00 0.00	704,364.00 0.00	704,364.00 0.00
	指標説明	当該事業者による再商品化を行うことにより、CO2削減や当センターにおける業務効率及びリサイクル率の向上等の効果が期待できる。						
（成果）プラスチック製容器包装ペットボトルベール品質検査結果	%	100.00 100.00	100.00 100.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	容器包装リサイクル協会は、プラスチック容器包装、ペットボトルについては年に１回のベール品質検査を義務づけており、その評価をA、B、Dで行っている。よってこの検査結果Aを100%の成果とする。						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0179
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　野口　渡
所属　1711　環境部衛生プラント　記入者　野口　渡
事務事業番号　01024　衛生処理場運転管理事業

【基本情報】

総合計画	04	大津市総合計画　第3期実行計画			
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります			
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でグリーンなまちにし			
施策	030	循環型社会の推進			
取組の方向性	002	廃棄物の適正処理			
事務事業	005	衛生処理場運転管理事業			
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律				
事業概要	（事業概要） 市内で発生するし尿と浄化槽汚泥を適正に処理し、生活環境の保全と公衆衛生の向上、維持に努める。				
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	下水道の普及に伴い、市内で発生するし尿及び浄化槽汚泥の量は減少傾向にあるものの、生活排水処理基本計画における予測値（目標値）に対して実績値が上回っており、見込みほどし尿等の発生量が減少していない状況にあることから、施設の安全かつ安定した運転は必須であり、引き続き維持されなければならない。このことから、令和４年度に大津市衛生プラント長寿命化総合計画を策定し、主要機器の更新や故障を未然に防ぐ予防整備を計画的に行うこととした。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市内で発生するし尿と浄化槽汚泥を
目的(何のために)	生活環境の保全と公衆衛生の向上維持するため、
手段(どのようなやり方で)	適切に維持管理が行われている衛生プラント（し尿処理施設）で、安全かつ安定した運転、処理することで、
成果(どのような 状態にするのか)	生活環境の保全と公衆衛生の向上維持が確保できている。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	211,419	228,910	239,068	245,286	245,286	245,286	245,286
事業費	195,719	212,510	222,668	228,886	228,886	228,886	228,886
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	195,719	212,510	222,668	228,886	228,886	228,886	228,886
人件費計	15,700	16,400	16,400	16,400	16,400	16,400	16,400
事務・技術（人）	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0179
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1711　環境部衛生プラント
事務事業番号　01024　衛生処理場運転管理事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-30-46-00-04-00	衛生処理場運転管理事業費	環境部衛生プラント

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)し尿・浄化槽汚泥搬入量（１日当り）	ｋｌ／日	27.47	26.10	24.75	23.45	22.16	20.91	19.67
		30.31	28.34	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)汚泥焼却灰処分量	ｔ／年	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00
		8.45	9.47	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)放流水の水質（ＢＯＤ）（管理目標値以下の達成度）	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)放流水の水質（Ｔ－Ｎ）（管理目標値以下の達成度）	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	一般廃棄物の処理は市町村の責務であるため			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	生活環境の保全と公衆衛生の向上維持に貢献した			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	運転管理等を委託にて実施し、コストの低減を図っている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	衛生プラントの適正運営により、環境負荷の低減に寄与した			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	大津市全体のし尿及び浄化槽汚泥の発生量は減少傾向にあるものの、見込みを超えて依然高止まりしている。また、南部衛生プラントの廃止に伴い、志賀及び北部衛生プラントのし尿等の処理量は増加しており、施設の重要度は増している。このことから、施設の維持管理を適切に行うため、令和４年度に策定した大津市衛生プラント長寿命化総合計画を確実に実行するとともに、今後も引き続き運転管理を適切に行うことにより、安全かつ安定した運転、処理を可能とするよう取り組んでいく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	し尿処理施設からの放流水の水質は自ら設定している基準値を満足し、適正な運営管理を保つことができた。 一方で、市内のし尿・浄化槽汚泥の発生量は減少基調にあるものの、搬入量の水準は目標値を上回っており、引き続き、現有のし尿処理施設の操業が欠かせないことは明らかである。 ついては、施設の老朽化が進んでいることを踏まえ、令和4年度に策定した長寿命化総合計画を計画的に推進し、し尿処理をめぐる生活環境の保全と公衆衛生の保持に努める。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1711　環境部衛生プラント
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　01024　衛生処理場運転管理事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)し尿・浄化槽汚泥搬入量（１日当り）	ｋｌ／日	27.47 30.31	26.10 28.34	24.75 0.00	23.45 0.00	22.16 0.00	20.91 0.00	19.67 0.00
	指標説明	志賀及び北部衛生プラントのし尿・浄化槽汚泥搬入量						
(活動)汚泥焼却灰処分量	ｔ／年	15.00 8.45	15.00 9.47	15.00 0.00	15.00 0.00	15.00 0.00	15.00 0.00	15.00 0.00
	指標説明	志賀衛生プラントから発生する汚泥焼却灰の処分量						
(成果)放流水の水質（ＢＯＤ）（管理目標値以下の達成度）	%	100.00 100.00	100.00 100.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	生物化学的酸素要求量１０ｍｇ／ｌ以下に処理						
(成果)放流水の水質（Ｔ－Ｎ）（管理目標値以下の達成度）	%	100.00 100.00	100.00 100.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	総窒素量１０ｍｇ／ｌ以下に処理						